

平成25年 ちびバド活動記録

1月12日	<p>◆中学 一年生大会◆ 女子シングルス …… 第三位:みはる / ベスト16:なな</p>
2月2日	<p>◆第一回小学生ダブルス大会◆ 6年男子 …… 第三位:しゅんすけ・ヒカル 5年男子 …… 優勝:しゅんや・しょうたろう 6年女子 …… ベスト8:みな・りな</p> <p>今年度初めてのダブルス大会。 季節がら体調崩し残念な棄権もありましたが ダブルスならではの 奥の深さと楽しい大会でした。 (ひなた)</p> 
2月9日	<p>◆小学生低学年大会(ゴーセンカップ)◆ 2年男子 …… 第三位:けんしん</p> <p>みんながんばりました。しかし、あと一步のところまで負けてしまった試合が！！ 試合に勝つには技術もさることながら、自分自身を奮いたたせることが大切です。 そのためには声を出すことです(勇気を出すことです)。 その声(勇気)がシャトルに伝われば、勝利の女神がほほ笑んでくれることがあります。 入賞した子、予選で負けちゃった子、次は声を出して頑張ろう。(シミズ)</p>
2月9・10日	<p>◆中学 埼玉オープン大会(団体戦)◆ 中学男子出場</p>  <p>他県の学校との公式戦。 2日間で練習試合を含め8試合、自分たちの実力を測るには良い大会であった。 全国レベルの強豪校との対戦など大会の雰囲気にも飲まれ、 相手選手の利き腕がわからないままプレーした者。これも経験。 大会後、選手間の会話で前向きな発言(意外な者から！！)もあったとか？ この大会で何かを掴んだ選手達に期待する。</p> <p>今大会ではちびバドOBナカジマもコーチとして帯同。 インターバル時の的確なアドバイスや、 大会での課題の克服に向けた指導を翌日の練習から開始するなど、 若き指導者にも期待して止まない。(あらい)</p>
2月23日	<p>◆第6回マロニエオープンジュニアシングルス選手権大会◆ 男子Bクラス …… 第三位:しょうたろう / ベスト8:しゅんや</p> 

2月24日	<p>◆第7回茨城県スポーツ少年団バドミントン大会◆</p> <p>6年男子シングルス … 準優勝:しゅんすけ / ベスト8:ヒカル</p> <p>5年以下男子シングルス … 優勝:しゅんや / 準優勝:しょうたろう</p> <p>6年女子シングルス … 第三位:みずき</p>
3月2日	<p>◆日立化成イベント招待◆</p>  <div data-bbox="1129 600 1449 813" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; background-color: #4a86e8; color: white;"> <p>米倉さんを 囲んで はいチーズ!</p> </div>
3月3日	<p>◆スマイル大会(中学・個人戦)◆</p>
3月9・16日	<p>◆第30回茨城県小学生バドミントン大会◆</p> <p>6年男子シングルス … 第三位:しゅんすけ</p> <p>5年男子シングルス … 優勝:しゅんや</p> <p>4年男子シングルス … 準優勝:しょうたろう</p> 
3月16日	<p>◆中学生 下妻大会◆</p>
3月30・31日	<p>◆卒業合祝◆</p>
4月28日	<p>◆第32回茨城県中学生春季バドミントン大会◆</p> <p>男子シングルス … ベスト8:陸</p> <p>男子ダブルス … ベスト8:くぼかい・しゅんすけ</p> <p>女子シングルス … 第三位:ゆうみ / ベスト8:みはる</p>
5月5・6日	<p>◆ちびバド合宿◆</p>

5月11・12日	<p>◆第19回ヨネックス埼玉オープンジュニアバドミントン大会◆</p> <p>6年男子シングルス … 第三位:しゅんや</p> <p>-結果をだすことの意義-</p> <p>けて順風満帆ではなかった。周囲から選手として厳しい指導も幾度となく受けてきた。私達指導者も家族もちろん本人も悩み不器用ながら懸命に取り組んできた。どんな選手でも課題はある。まだ若干11才の小学生。素直な選手が多い中、異質な松田の存在。しかし、松田の感覚の冴えたショット。プレー中の表情を変えない強さ。未熟な部分も含め松田の個性。あいつにしか出来ないプレーがあってそれは認めてあげたいと思っていた。今回の“3位”も簡単ではなかったはず。しかしエースとして選手として大きな舞台で結果をだすことの意義を成した。この結果は悩みながらも頑張ってきた松田自身が一番自信となったはず。誰にも課題や時に辛い場面がやってくる。その逆境の時 逃げ出すか、乗り越えるか、で自分の未来が違ってくる。辛い時ほど‘これはチャンスだ’と頑張っほしい。その逆境は乗り越えてこそ必ず意味があるものだから。(ひなた)</p>
5月19日	<p>◆小学生 若葉カップ茨城県予選会◆</p>
	<p>男子団体優勝！ 若葉カップ本選出場を決めました！！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
6月1日	<p>◆平成25年度スポーツ少年団関東ブロック競技別交流会茨城県選考会◆</p> <p>男子シングルス … 優勝:しゅんや / 準優勝:しょうたろう</p> <p>男子ダブルス … 準優勝:じゅん・だいき</p>
6月2日	<p>◆パナホームカップ 第14回全国小学生ABCバドミントン大会茨城県予選会◆</p> <p>男子シングルスA … 優勝:しゅんや / 準優勝:しょうたろう / 第三位:じゅん / ベスト8:だいき</p> <p>男子シングルスB … ベスト8:サトル、けんしん</p> <p>ABC県予選会、松田俊哉が男子A県代表決定。</p> <p>準決勝 吉田 純がスーパー純に変身。純の攻撃に圧倒され松田ファイナルの苦戦、決勝は前日の関東交流決勝戦と同じく稲光翔太郎。一打一打に会場が息をのむファイナル死闘21-18。主審ゲームセットのコールでは会場から健闘を讃える拍手が沸き起こる素晴らしい戦いを魅せてくれた。純、翔太郎 俊哉に力の限り挑む強い姿勢が、勝ち急ぎ焦る俊哉を何度も何度も追い込んだ。その真剣な戦いは会場の視線を釘づけにした。</p> <p>負けはしたが2人の勝負に一切の妥協もない戦いぶりは、小学生といえど素晴らしいものだった。そしてそれでも勝ち取った俊哉の強さ。俊哉には、2人の涙と思いをABC本戦で茨城代表として仲間の代表として恥じない活躍を期待したい。(ひなた)</p>

6月8日

◆神奈川オープン大会(中学団体戦)◆

男子 … 第三位



神奈川オープン 男子堂々3位！！
 運がいいのか… 運も大きな実力だ！！
 大きなメダルに感激 団体っていいなあ～
 それぞれここまでも色々あったし今でも全員完璧ではない
 みんなの笑顔は
 それぞれの苦しんでることも辛いことも忘れるね。
 喜びもつかの間 さあこれからが本番。
 こうしてこの笑顔達とチームで戦えるのもあとわずか。
 小さな個の力を合わせ大きな自信にかえて目標達成を目指すぞ。
 そして最後はやはり みんなで 笑おう。
 (ひなた)

6月22日

◆中学 6校合同大会(主催・明野中学校)◆

6月29・30日

◆ちびバド合宿◆

7月5・6日

◆中学 総合体育大会茨城県県西地区予選会◆

女子団体 … 優勝 / 男子団体 … 準優勝

男子シングルス … 優勝:陸 / 第三位:しゅんすけ

男子ダブルス … 準優勝:くぼかい・あらだい

女子シングルス … 優勝:ゆうみ / 第三位:みはる / 第三位:みずき

女子ダブルス … ベスト8:あいり・ゆみ

以上のメンバーが、県大会へと進みました。



『辛さは分かち合い。喜びは倍増。』
 強い人だけが、強いわけじゃない。
 男子団体は逃したけれど、何も失ってはいない。
 こんなかけがえのない楽しい笑顔達がここにいる。
 だからまた頑張れる。むしろ男女団体個人得るものが多く自信につながった
 この笑顔達をみてそう思えた。
 全く、弱くて平凡な力ばかりだけれど互いに信じあって励ましあって
 苦楽をともにしてきたこの笑顔が私の宝だ。みんなの力だ。
 だから辛い時ほど笑って。みんなで さあ 県予選ピンチはチャンス！

・・大会中ちびばどHPをみてます。と声かけて頂いた方々ありがとうございます。
 中でも古河二中ダブルスの今村さん木村さんのプレー活躍は印象的でした。
 県予選でも互いに頑張りましょう・・ひなた

7月14日 ◆第6回関東小学生オープンダブルス大会◆
 男子6年生以下の部 … ベスト8:しゅんや・しょうたろう、じゅん・だいき

7月23・24日 ◆中学 総合体育大会茨城県予選会◆
 男子団体 … ベスト8 / 女子団体 … ベスト8
 男子シングルス … 第三位:陸
 女子シングルス … 第三位:ゆうみ
 男子ダブルス … ベスト8:くぼかい・あらだい



海斗大地陸優美あいらゆみ拓真翔渉へ

試合は勝つか負けるか 結果は二つに一つ
 負けはしたけれど
 逃げずに全力で戦ったそこに価値がある。

そして、誰にもけして負けない
 仲間との先輩との後輩との‘絆’がある
 だから今まで辛くても頑張ってきた。

苦しさ、辛さ そして楽しかったこと全て
 自分の人生というページに必ず仲間がいて
 大事な大事な宝物のページとなる。

勝ったことも負けたことも、
 この経験は必ず意味があって、後に役に立つ。
 自分を支える原点になるだろう。

今はわからなくても、
 それは後になってわかる時がきつとくる。
 だからこの負けは負けじゃない
 自分の人生の勝利者になればいい！

みんなありがとう 楽しかったよ
 2013.7.27 ひなた

7月26～28日 ◆関東スポーツ少年団交流大会◆

茨城女子団体 優勝

男子団体 準優勝

開催県茨城の代表として素晴らしい結果に貢献できた選手達に乾杯！



見ごたえはやはり優勝がかかった神奈川戦。それまで完全全勝の神奈川と茨城。負けはしたもののショウタロウの善戦。純ダイキは体を生かしたダイナミックなプレー、ダイキのガッツポーズも飛び出す気迫が唯一神奈川に土をつけた。結果全試合全勝は純ダイキだった。純は試合のみならず、体調不良だった俊哉の代りとして主将、宣誓を実に堂々と果たした。忙しい日程での今回の関東交流団体戦。体調管理の心配をよそに大会試合の経験は、日々の練習にはない緊張感が選手を成長させてくれる。このままの勢いを若葉にABCに県予選会にもっていこう。(ひなた)



7月31日

◆全日本ジュニア県予選◆

8月1～5日 ◆第29回若葉カップ全国小学生バドミントン大会(団体戦)◆



若葉の感動

今年は天晴れでなく、今年は勝ちにいくと臨んだ大会。

予選突破を果たし行け行けムードで決勝トーナメント

善戦空しく3-1負け。しかし攻めていっての負けは評価したいみんな真剣だった。

..大会終了後の更衣室

1人ずつ大会の感想を話して、試合の出番が回ってこなかったレイが泣きながら

「試合出れなかったけど、ここまで..みんなにつれてきてもらったからみんなに..感謝します..」と

泣きじゃくりながら感謝という言葉聞いた瞬間 みんなの顔がまた涙であふれた。

みんな頑張った全力だった真剣だった だから悔しかった。

特に3年のレイとケンシンは、いつも厳しい対戦にあてられそれでも一生懸命戦った。

ケンシンも決勝トーナメントでシングル入るよ。という即「やります」と。

けて「否だ」と言わず、最後に「感謝」の言葉。力はまだまだ未熟だけれど 小さい2人の心が尊く愛おしく素晴らしい。

これで若葉への挑戦は成功だったんじゃないかと思う。

6年もこの若葉に向けて下の子達の面倒もみる場面がみえたし何より試合に対する責任も顔に表れて

正に団体戦としてまとまってきた。怖いものなく、チームとしての勢いを感じていた。

そしてもう一つ保護者の存在も。あの協力なしにはありえない素晴らしい大きな影の力となった。だからこそ、勝ちたかった。しかしここまでひとつの目標にたった7人オールちびぼどで楽しめたこと。

そしてこの感動と子ども達の成長を直に感じる事が出来たことに私達指導者も、子ども達と保護者に感謝したい。

「人を動かすのは人の心」

正にレイの言葉は、私達指導者を動かす原動力となった。

みんなさほど力も無く、とりえといったら泣き虫で純粋な曾語句な心をもつ子ども達だが、

このあふれる涙がまたみんなを成長させ絆を深め、きつといい選手チームになる。

ありがとうレイ。ありがとうみんな。また練習ガンバラ。

2013.8/6 ひなた

<p>8月16～18日</p>	<p>◆パナホームカップ 第14回全国小学生ABCバドミントン大会◆</p> <p>男子A … ベスト8:しゅんや</p> <p>2013熊本ABC 俊哉の冴えたプレー 堂々と戦えた。 監督席と俊哉と一体感を感じれた。 私にはそれが大きな収穫。 だからこそ結果もついてきたのだろう “ベスト8”全国5位の賞状を受け取る俊哉。 これまでの辛かった試練もこのご褒美で報われる。 しかしまだまだ俊哉は果てしなく未完成。 その背中に限りない可能性を感じる。 今後更に周囲の期待責任が重くなるだろうけれど それは誰のものでもない俊哉の背負うべき荷物。 背負うものが多くなってこそ踏ん張れるものだ。 次の挑戦にまた期待したい。 そしてこれは俊哉の1人の栄光ではなく ちびばど全員の喜びであり励みになる。 先輩後輩“若葉更衣室”仲間との涙があったからこそ。 現実あのほんの一時、おろちの安達さんに声かけて頂けたことがABC俊哉の 活躍につながった。と心から感謝したいし、運命的な不思議な縁まで感じずには いられない…。おろちの皆様ありがとうございました。今後ともご指導お願い 申し上げます。私も改めて、こうしてこども達が戦う傍で多少なりに支えになること。 とともに悩み、時に喜び、活動出来ること全てこども達のおかげ、みんなに感謝します。 ひなた</p>  
<p>8月24・25日</p>	<p>◆平成25年度新人県大会県西地区予備戦北関東大会茨城県予選選考会◆</p> <p>女子シングルス … 第三位:みずき / ベスト12:みほ 女子ダブルス … 優勝:なな・みはる / 第三位:りな・みな 男子シングルス … ベスト12:きみや 男子ダブルス … 第三位:しゅんすけ・ヒカル</p>
<p>8月31・ 9月1日</p>	<p>◆第22回全国小学生バドミントン選手権大会茨城県予選会◆</p> <p>6年男子シングルス … 優勝:しゅんや / 男子ダブルス … 準優勝:じゅん・だいき 5年男子シングルス … 優勝:しょうたろう 4年男子シングルス … 第三位:サトル / 男子ダブルス … れい・けんしん</p> 
<p>9月23日</p>	<p>◆中学 北関東大会茨城県予選会◆</p> <p>男子ダブルス … 第六位:しゅんすけ・ヒカル 女子シングルス … 第六位:みずき 女子ダブルス … ベスト16:みはる・なな、りな・みな 女子は個人ポイント総合で団体ベスト4、本選出場権利を勝ち取りました。おめでとう！</p>

10月11・12日 ◆中学 新人戦県西地区予選会◆

女子団体 … 優勝

男子団体 … 準優勝

女子シングルス … 優勝:みはる / 第三位:みずき

男子シングルス … 優勝:しゅんすけ / 団三位:ヒカル

女子ダブルス … 準優勝:みな・りな / ベスト8:みほ・なな



10月19・20日 ◆第7回関東小学生バドミントン選手権大会◆

5年以下男子シングルス … 優勝:しょうたろう



-翔太郎が関東制覇！-

『ぼくは6ねんせいまでにはぜったいぜんこくへいきますから
れんしゅうをおしえてください・・・しょうたろう』

3年前に翔太郎からもらった手紙の一部。決勝戦を勝ち取った瞬間 思い出した。
生まれて気がついた時にはシャトルと戯れ体育館で育ったショウタロウ。才能は抜群。
体は小さいが、心優しく周囲に好かれる素直な性格。だからか・・・
期待されながらもあと一歩のチャンスはことごとく手からこぼれて。
悔し涙を何度味わったろう。昨年のABC予選、今年の予選も・・・
けれどいつでも前向きに練習に取り組む姿勢はバドの神様は知っていた。
いっぱい悔し涙のおかげで 今回、全国よりも(?)難しい関東予選を制覇した。
大会朝 『全然プレッシャーありません！』と笑顔・・・その雰囲気のまま決勝を勝ち取ってしまった。
以前 兄の勇太が活躍した頃 『ちびバド』発足の運命的なものを感じたものだったが、
その大好きな兄勇太の背中を追いかけひたすら努力を重ねた翔太郎こそが ひょっとして
『THEちびバド』なのかもしれない。

ちび勝ち2013' 風がふいてきた・・・追い風によって 翔太郎 大きく翔け！
全国の舞台はしょうたろうのためにある。 2013.10.20 ひなた

10月31日・

◆中学新人戦 茨城県大会◆

11月1日

男子団体 … ベスト8 / 女子団体 … ベスト8

男子シングルス … 第三位:しゅんすけ

女子シングルス … ベスト8:みずき

11月3・4・

◆第12回明野ちびっこバドミントンオープン大会◆

16日

大会結果は別ページにあります。

たくさんのご参加、ご協力、ありがとうございました。







11月23日

◆小学生 つくば市長杯◆

6年男子シングルス … 優勝:じゅん
6年女子シングルス … ベスト8:朱里
4年男子シングルス … 第四位:サトル
3年以下男子シングルス … 準優勝:けんしん



準優勝!



優勝!!

12月15日

◆茨城県総合バドミントン選手権大会◆

女子ダブルス2部 … 優勝:みはる・ゆうみ



12月22日

◆中学生 県リーグ戦(団体)◆

男子 … 第五位
女子 … 第五位



12月22～
25日

◆第22回全国小学生バドミントン大会◆
5年男子シングルス … 第三位:しょうたろう



雪に迎えられた山形全小。あっという間の5日間。
終わってみれば茨城団女子男子の素晴らしい活躍。
勇太の大阪全小3位 以来6年ぶりのそれも5年生翔太郎の3位。
とても宿命的なこと あれこれ考える。
全国3位。ホントに見事。
だが、今、これからが本当のショウタロウの出発点だ。
以前私への手紙で宣言した「小学で全国」の目標達成した翔太郎。
先日 夢は？ 問うと『オリンピック選手です』とニヤニヤしながら
答えた。今年夏の熊本・新潟全小も翔太郎旋風！ 楽しみです。
また、個人では全国逃した松田吉田も団体戦とはいえ全国試合経験は貴重。
悔しさと。自信と。今度こそ。この全国という舞台に再び仲間とともに立つ！
新たな大きな夢に向かって日々鍛錬！

翔太郎の個人戦組合せをみて関東オープンでお世話になった北海道田仁クラブの毛利君と
島根おろちの今川君の対戦表にまず驚いた。
こんなことがあるんだな。
結果おろちの今川君と対戦となる。
安達さん、おろちさんとの関係は夏 若葉 負けて帰路に急ぐロッカーでのほんの数分間の会話。
その出会いが松田のABC5位に。
そして夏からいつか今川君と翔太郎を対戦させたいと思っていた。がまさかこの全国？！
対戦の喜びと運命を感じつつとても楽しい一戦でした。
試合後結果もさることながらこの出会いに感無量でお互いネット越しに何度も握手をしている様子
を見ていた主審が笑顔で「宴もたけなわですがそろそろよろしいでしょうか・・・」と退場を促したエピソードも素敵
一人との出会いは なにものにも代え難く ありがたい
多忙なこの一年を振り返り 心温かく 雪の山形を後にした
ひなた